



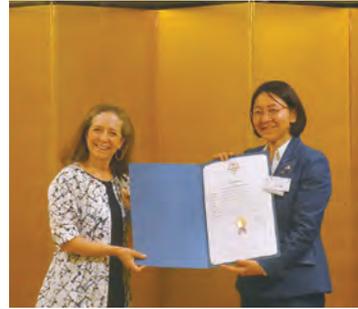
カンザスシティ

姉妹都市提携50周年記念市民訪問団受入 4月15日～18日

倉敷市とカンザスシティ市は令和4年に姉妹都市提携50周年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン交流を行いました。

令和6年、米国中部日米協会ベギーン・ブランク会長をはじめ29名が2年越しで来倉され、表敬訪問、市内見学、文化体験や市民との交流を通して、半世紀を超える姉妹都市交流を振り返り、両市の友好の絆をより一層強くしました。

また、記念祝賀会では、カンザスシティ市において2024年5月19日を倉敷デーとする旨を記したクイントン・ルーカス市長の宣言書が披露されました。



生活体験団派遣 7月23日～8月8日

高校生7名、引率者1名を派遣しました。(45回目)

カンザスシティならではの体験やホームステイを通して、日本との文化の違いやアメリカのスケールの大きさを肌で感じました。

ホストファミリーや現地の人たちと過ごした時間は、一生の思い出となりました。



学生親善使節受入 7月15日～31日

学生4名が来倉し、倉敷市内でホームステイをしながら日本の生活・文化を体験しました。倉敷商業高校の生徒との書道などを通じた交流、倉敷カンザスシティ市民交流協会が企画したデイトリップ、倉敷天領夏祭りの総踊りへの参加



など、相互理解と友好親善を深めました。

また、広島平和記念公園では、平和への誓いを新たにしました。





クライストチャーチ

**高校生訪問団受入
4月19日～22日、9月30日**

4月19日～22日にボーイズハイスクールの学生21名と引率者3名、4月20日にリカルトンハイスクールの学生21名と引率者3名、9月30日にクライストカレッジハイスクールの学生18名と引率者3名の日本語学習生訪問団が来倉し、美観地区見学などを行いました。



**生活体験団派遣
7月23日～8月8日**

中学生10名、引率者2名を派遣しました(29回目)。

ホストファミリーや現地の人たちとの交流、多様な文化や大自然に触れるなど貴重な体験を通じて、たくさんの学びを得ることができました。



**学生親善使節受入
9月25日～10月9日**

学生10名と引率者2名が来倉。市内の中学生宅にホームステイをしながら共に通学し、小学校訪問では伝統的な日本の遊びで児童と交流しました。また、倉敷・クライストチャーチ市民交流協会による交流プログラム、生け花・書道体験など日本文化と市民交流を楽しみました。



鎮江

高校生オンライン交流 8月25日

日本語による4回目のオンライン交流を実施しました。鎮江市からは日本語を学習中の学生、倉敷市からは高校生が各10名参加しました。お互いの市や文化を紹介した後、趣味や学校生活について自由に話しました。画面共有を活用したり、画面越しに紹介したいものを共有し、活発に交流しました。



**文化交流団受入
8月29日～31日**

中国人民政治協商会議 鎮江市委員会 周文娟 副主席を団長とする訪問団5名が第7回西日本地区日中友好交流大会への出席に合わせ来倉し、表敬訪問、議場見学や美観地区の視察を行いました。



倉敷市国際交流協会
facebook をチェック!

～ボランティアバンクに登録しませんか?～

倉敷市国際交流協会では国際交流イベントに興味がある、ホストファミリーをやってみてみたいといった方へボランティアバンクへの登録をお願いしています。詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/culture/global/1005171/1005432/1005436.html>





サントペルテン

短期留学生受入 6月3日～16日

学生1名が来倉し、倉敷市内でホームステイをしながら、華道・茶道や着付け、染め物体験、倉敷南高校・倉敷青陵高校の生徒との交流、美観地区や鷲羽山・瀬戸内海の見学など、日本の文化や生活を満喫しました。特に、ホストファミリーとの交流はかけがえのない思い出となったようです。



サントペルテン市豪雨災害義援金

令和6年9月、中・東欧州での豪雨によりサントペルテン市で浸水被害が発生。倉敷市が募る義援金に、サントペルテン市を訪問した方、ホストファミリーなど交流関係者、また多くの市民の皆様からご協力をいただきました。

令和7年1月、倉敷市からサントペルテン市へ728,213円が送金されました。



国内事業

留学生等への中古自転車支給 6月3日

放置自転車をリサイクル・整備して、6月3日、倉敷市に居住する外国人留学生に32台を交付しました。



国際理解講座

毎回異なるテーマについて英語で意見を交換する「グローバル コミュニティ イン イングリッシュ」を11回開催し、のべ229名の参加がありました。



参加者からは「多様な考え方や異なる視点に気づき、視野の広がりを実感できた」との声がありました。

倉敷国際ふれあい広場 10月13日



世界の料理屋台や世界各国の歌や踊りのパフォーマンス、外国文化を紹介する展示やワークショップ、地域で生活する外国人との交流会、7カ国の品物を集めたワールドバザール、フリーマーケットなどのさまざまなプログラムを通じて日本人と外国人市民が交流し、国際理解を深めました。

世界の料理屋台や世界各国の歌や踊りのパフォーマンス、外国文化を紹介する展示やワークショップ、地域で生活する外国人との交流会、7カ国の品物を集めたワールドバザール、フリーマーケットなどのさまざまなプログラムを通じて日本人と外国人市民が交流し、国際理解を深めました。



外国人と学ぶ防災講座 10月13日

日本の災害と防災について、やさしい日本語と通訳を交え、在住外国人の皆さんと共に学ぶ講座を開催し、16名が参加しました。ハザードマップを使って自宅の危険度や避難所を確認し、ハラル認証の非常食を試食したほか、非常持出品や備蓄品を確認しました。





国内事業

倉敷イングリッシュキャンプ 8月20日・21日

市内の中学生156名が、1泊2日のキャンプで英語による交流を楽しみました。クイズ・スポーツ・ゲームに取り組み、外国人英語教師、日本人英語教師とコミュニケーションを取りながら実践的に英語を学びました。



日本語教室指導者勉強会 1月25日

外国人にボランティアで日本語を教えている市内各日本語教室の指導者などを対象に、勉強会を実施しました。倉敷外語学院より講師を招き、「日本語を教えるための心構え・試験対策方法」をテーマに21名が受講しました。また同日、各教室代表者による意見交換・交流会を実施しました。



JICA中国施設訪問 11月23日



小学生と保護者40名が倉敷市役所から専用バスでJICA中国を訪問し、体験型ワークショップ、民族衣装・楽器体験に参加しました。また、外国人ボランティアと一緒にランチタイムを過ごし、世界のことや国際協力について楽しく学びました。



JICA海外協力隊活動報告会 2月11日



JICA海外協力隊としての任務を終えて帰国した村上碧さん(カメルーン共和国)と、木村祐介さん(モザンビーク共和国)が活動報告を行い、54名が聴講しました。その後、報告者2名に加えJICA海外協力隊経験者9名との交流会を行い、参加者は現地の生活や文化、国際貢献について理解を深めました。



外貨コインで国際貢献 3月14日

皆様から寄せられた外貨コインや紙幣を通貨別に仕分け、主要13カ国約7万円とその他の国の外貨4.9キロ分を日本ユニセフ協会に寄付しました。令和6年度は、国際課窓口のほかに、倉敷国際ふれあい広場の本部やJICA海外協力隊活動報告会の会場にも募金箱を設置し、たくさんの方に寄付をいただきました。今後、世界の子どもたちの支援活動に使われます。



【会員募集中!】

倉敷市国際交流協会では会員を募集しています。年会費は一口2,000円、法人・団体が一口5,000円です。会員の方には、講座・イベント情報や協会紙をお送りするほか、講座受講料が無料・もしくは割引になるなどの特典があります。国際交流のテーマに少しでも関心をお持ちの方はぜひ協会にご入会ください。

【発行者】倉敷市国際交流協会事務局

〒710-8565 倉敷市西中新田640
TEL:086-426-3015 FAX:086-426-4095
E-mail:intntnl@city.kurashiki.okayama.jp
URL:https://www.city.kurashiki.okayama.jp/culture/global/1005171/1005432/index.html



【令和7年(2025年)4月発行】